

《 平成28年度後期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

平成29年1月24日(火)～2月6日(月)の期間実施

【デザイン学科】

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
上坂 恒章	CG演習Ⅱ	「全体満足」4.9/5.0、「後輩にすすめる」4.9であったが、学生の「理解」が4.4であったので、次回は理解度を高める様、改善していきたい。自由記述では、「丁寧に教えてくれた」「グラフィックデザイン関係の仕事に役立つ授業だった」などであった。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
安田 祐造	色彩環境論	高い評価を得られ、努力が報われた想いです。さらにより良いものを目指します。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
西田 陽二	デッサンⅡ	前期と比較して後期の理解力が増している。学生の実力が上がった分、内容が高度になっているにも関わらず理解出来ていると考える。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
西田 陽二	絵画Ⅱ	人体表現(特に顔)を通して、造形の基本を学ぶ事が出来ていると感じる。色数を制限することで混色の原理が自然に身についている。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
松岡 龍介	インテリアデザインⅡ	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアルデザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員(工芸)の教員として指導にあたることを希望する学生のため「最初の製図表現」のデザイン製図Ⅱの続きの内容です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、より具体的な課題を製作します。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
宮嶋 達也	英語Ⅱ	LL教室の施設の老朽化により大変不便をおかけしております。今後他の方法を検討していきたいと考えております。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
国松 明日香	彫刻Ⅳ	授業スキル部分、授業内容全体印象部分、共に平均点を上回っているが、授業の全体満足度はやや劣っている。環境等の設定に今後配慮していく必要があると思う。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
伊藤 光悦	美術学概論Ⅱ	Q6.講義内容によっては、やや量が多過ぎ、説明主体になることがあった。内容をしぼり、学生の発言をより引き出す形で結論に導く授業を工夫したい。 Q9.学生が興味を持ち、考え、発言し、その内容から結論に導くような授業を一部取り入れていく。※理解の補助として資料プリント(記入式)の利用。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
内藤 克人	西洋美術史Ⅱ	授業内容の理解状況が約7割なのでもう少しわかりやすい授業を心がけ9割以上の学生が理解できるように改善したい。15世紀から現代までの広範囲な美術作品を取り上げるので予習や復習が必要である。適切な課題を出題して理解を深められるようにしたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
内藤 克人	立体構成Ⅱ	立体造形物の基本を理解し、バランスやリズム、加工精度等の大切さを実感できる課題製作をさらに進めていきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
青木 隆夫	東洋・日本美術史Ⅱ	調査結果での各設問の評価内容を考慮しつつ、今後の授業内で反映できるよう努めたい。また、授業内容と理解度、進め方全般においても、受講生とのコミュニケーションに配慮し組み立てられるよう、今後の自身の更なる努力目標としたい。パワポ・資料・板書・コメントなどの授業構成などは、更に効率的なものとして洗練させたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
田中 靖之	ビジュアルデザインⅢ	CIデザインの演習課題を、学生個々が設定する事が有意義だと実感しました。ただ、展開デザインの作業スケジュールを把握させることが重要だと考えています。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
岡 恵子	日本画Ⅱ	日本画Ⅱでは、日本画Ⅰで行った自然物の写生をもとにした絹本作品制作で、日本画の基本的な絵の具や用具の扱いを身に付けたところから発展させ、岩絵具という粒子のある絵具とそれによる画肌の性質の研究を目的のひとつにした。和紙は日本画製作では欠かすことの出来ない基底材のひとつである。プロが作った和紙には適わないが、自分でも工夫して漉いた和紙で日本画を描くことでより日本画の学習を身近なものにして欲しい。また、世界に誇れ日本の和紙文化にも興味を抱いて欲しい。ただし、紙漉きに要する時間が人数の関係上まる2日間となるので、全体の日程配分は工夫が必要である。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
三上 いずみ	テキスタイルデザインⅡ	板書が読みづらいという意見を受けて、今年度から改善しました。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
中島 知之	工芸実習Ⅱ	アンケート結果をうけ、さらに今後は1人1人の学生とコミュニケーションをとり、学生たちの興味、関心を深め、制作意欲の深まるような講義内容を目指していきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
島田 晶夫	工芸実習Ⅳ	授業改善アンケートの結果を拝見し、とても嬉しく思っています。「楽しみながら技術の習得を目指す」という事を意識して授業内容を考え、学生に接するよう心掛けていましたが、それが伝わっている事を強く実感することができました。今後も一人一人の学生の個性や技術を伸ばせる授業作りを心掛けて行きたいと思えます。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
鳴海 伸一	版表現Ⅱ	回答ありがとうございました。印刷枚数の増加や版材の工夫などを実施し、版表現の魅力を感じて頂ける様、より良い進行を心掛けます。